



# がん治療センターニュースレター

がん治療センターでは、病気の治療だけでなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。



順天堂大学医学部  
外科学教室・  
消化器外科学講座  
(上部消化管外科学)  
助教  
夕部 由規謙

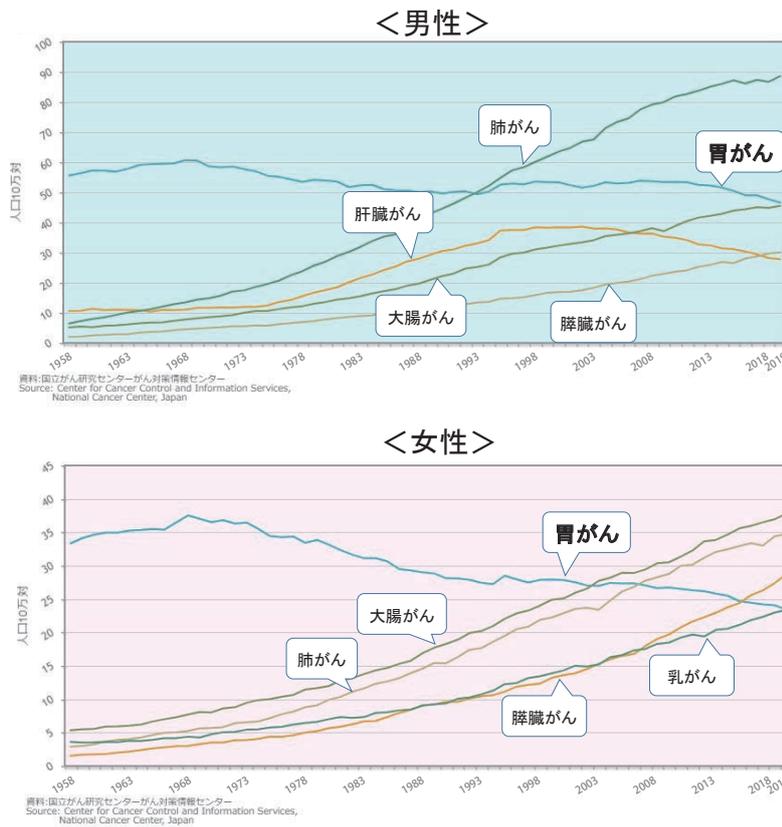


## 胃がん～身体に優しい手術療法～

### 最近の胃がんの動向

我が国では20世紀、胃がんによる死亡がずっと1位でした。しかし、現在は男女ともに死亡率は減少傾向となっており、胃がんで亡くなる人は少なくなっていると言えます(図1)。

(図1)男女別部位別死亡率の年次推移(トップ5)



胃がんのリスクとして、①ピロリ菌感染、②胃粘膜の萎縮、③遺伝性疾患、④喫煙などが挙げられています。その他、食事(塩分など)、嗜好、EBウイルス感染などの可能性が言われています。胃がんの死亡率減少の要因は、ピロリ菌の除菌や胃がん検診の広まりが大きな役割を果たしていると考えられています。予防や早期発見が重要です。胃がん検診を受けましょう!

参考文献:

早期胃癌の内視鏡診断ガイドライン 日本消化器内視鏡学会



## 胃がんの低侵襲治療

早期胃がんに対する一般的な術式である胃幽門側胃切除術を、腹腔鏡で行うことの安全性は確立され、ガイドラインでも日常診療の選択肢の1つとなっています。上部消化管外科(消化器・低侵襲外科)では、本邦で低侵襲手術が導入された1990年代から第一線で活躍されてきた福永哲教授を中心に、難易度の高いと言われている進行胃がんや上部胃がんに対しても、腹腔鏡手術やロボット支援下手術を積極的に行っております。低侵襲手術を行うことで、傷が小さく、痛みが少なくなり早期社会復帰が可能となります。その結果、進行胃がんの患者さんにも、必要な抗がん剤治療へ早期に移行できるメリットがあります。

当科では、順天堂医院で診療を開始した2016年からこれまで、90%以上の手術を腹腔鏡やロボットで行う低侵襲手術を行っております。

**腹腔鏡手術:**ポートと呼ばれる細い筒をおなかに入れ、二酸化炭素でおなかを膨らませることでできたスペースで手術を行います。

開腹手術と同じように、「がん」や「リンパ節」を過不足なく取り除きます。



### 手術風景

(ポートからカメラや鉗子を挿入し手術を行います)

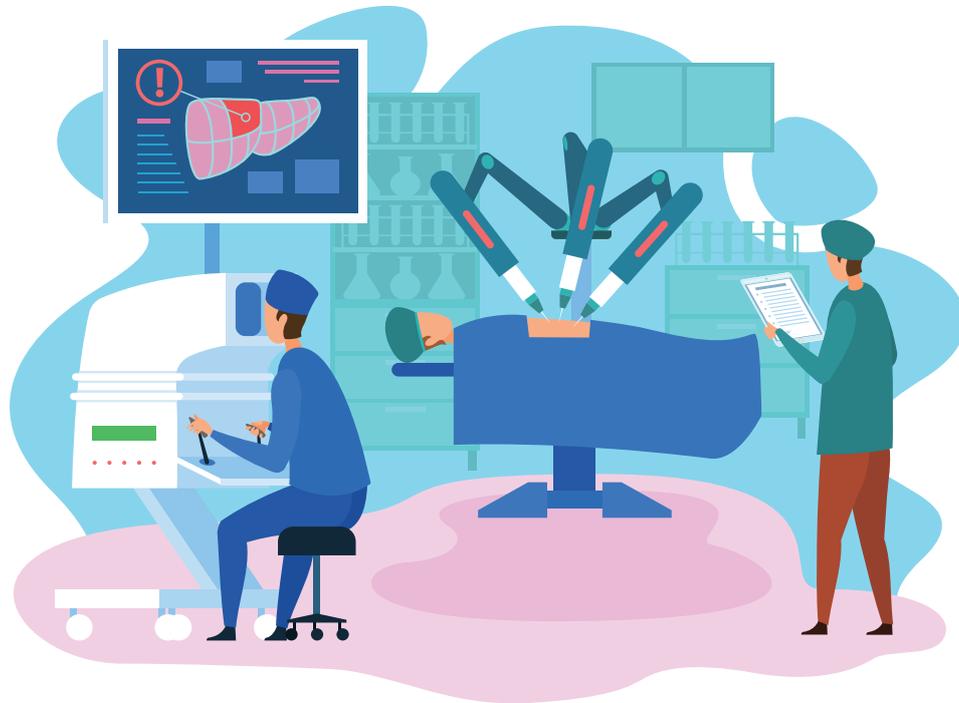
### 術後創部





## 🌸 ロボット手術

ロボット手術は2018年保険収載となりました。当院では積極的に胃がんに対するロボット手術を行っております。繊細で緻密な動きが可能となり、合併症の低減などにつながることを期待されています。



ロボットは多関節を有しており、細かな鉗子の動きが可能となっています。



実際のロボット手術風景(術者、助手全員がモニターに集中して行います)

予防や早期発見が重要ではありますが、胃がんと診断されても様々な治療選択肢があります。われわれは、より患者さんの負担が少なくなる治療を行っております。いつでもご相談ください。



# リンパ浮腫のケアについて



がん治療センター 看護師 野上 典子

## ～リンパ浮腫とは～

リンパ浮腫とは、がんの手術などでリンパ管やリンパ節が傷つけられ、運べなくなったリンパ液が腕や脚などに溜まり、むくむ症状のことをいいます。

## Q1 リンパ浮腫外来ではどんなことをするのでしょうか？

リンパ浮腫の代表的な治療法(複合的理学療法)を次の図に示します。



## リンパ浮腫外来では…

- 暮らしの中でどんなことに気をつけていただくのがよいか、また工夫できること等、一人一人にあったケア方法を一緒に考えていきます。
- 圧迫療法の開始時期・内容は浮腫の状態により医師と相談して行います。
- 重症の方へ、看護師がリンパドレナージを行うこともあります。重症以外の方はセルフマッサージの方法もお伝えしています。



## Q2 リンパ浮腫はどこで相談できるのでしょうか？

- まずはおかかりの診療科で担当医にご相談ください。  
乳腺センター(乳がん)、婦人科(子宮がん、卵巣がん)、足の疾患センター(消化器科、泌尿器科等)、がん治療センター(緩和ケア)で看護師による相談を行っております(完全予約制)。
- 看護師による外来のため、診断・処方はいりません。  
場合により形成外科医師の外来診察で対応を連携させていただくこともあります。
- 保険診療の費用がかかることがあります。  
足の疾患センターでは自費診療になる場合もあります。

当院のリンパ浮腫のセラピストです



一緒に考えて  
いきます!

# ミニレクチャーのご案内

「ミニレクチャー」とは、患者さんやご家族の方々が病気やその治療について理解を深めていただけるよう、テーマを決めて定期的に動画配信を行っています。

2020年7月までは、会場にお越しいただき、講演後には質疑応答の時間を設けておりましたが、2020年9月より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画配信とさせていただきます。最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。



## 2021年7月配信

①がんの運動器診療 ～がん口コモと骨転移～

整形外科・リハビリテーション科・緩和ケアセンター医師 高木 辰哉

②がんリハビリテーション

静岡病院 リハビリテーション科医師 田沼 明

## 2021年9月配信

①神経内分泌腫瘍とは

糖尿病・内分泌内科医師 後藤 広昌

②緩和的放射線治療(外部照射)に関して

放射線科医師 川本 晃史

## 2021年11月配信

①胃癌治療における低侵襲手術とは?

上部消化管外科 夕部 由規謙

②CART細胞(キムリア)療法について

血液内科医師 安藤 純

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/mini/>

順天堂医院 がん治療センターミニレクチャー | 検索



# 市民公開講座のご案内

12月18日(土)に開催しました。最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。



講演

1

「乳がんのお薬最新情報～乳がんの個別化医療を目指して～」

乳腺科 教授 渡邊 純一郎

講演

2

「思春期・若年成人世代のがんと妊娠～将来の妊娠に備えて出来ること～」

産科・婦人科 助手 武内 詩織

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/answer/>

Web環境があれば、お好きな場所から視聴できますので、お時間のある時にご覧いただけますと幸いです。



▶お問い合わせ・・・03-5802-8196



# 旬の食材

今回は「ゆず」についてご紹介します。

栄養部 大脇 真有

ゆずは柑橘系のさわやかな香りとほのかな苦味が特徴で、料理の引き立て役としてだけでなく、ゆず湯や精油など、食べる以外にも様々な活用法がある食材です。

## <実はレモンよりすごい!?!>

ゆずの皮には「ビタミンC」や「クエン酸」がレモンの2~3倍含まれており、その含有量は柑橘類の中でもトップクラスです。また、皮膚や粘膜を保護し、風邪を予防する効果がある「β-クリプトキサンチン」もレモンのおよそ10倍含まれており、まさに乾燥が気になるこの季節にぴったりです。

## <血行を良くして体ポカポカ>

柑橘類に多く含まれるポリフェノールの一種「ヘスペリジン」は毛細血管を広げ、血流を改善する効果があるため、冷え症の方に是非とっていただきたい成分です。特に皮やわたの部分に多いため、皮をすりおろして料理のアクセントにしたり、そのままスライスしてはちみつ漬けなどにして皮ごと摂取するのがおすすめです。



## がん治療センターニュースレター

[2022年1月 第38号] 創刊 2009年5月(年3回発行)

●発行元: 順天堂医院 がん治療センター

●住所: 東京都文京区本郷3-1-3

●電話番号 & ファクシミリ: 03-5802-8196

●Eメール: cancer@juntendo.ac.jp

●ホームページ: <https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/>

